

**令和6年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和6年12月
海老名市立杉本小学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、算数)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

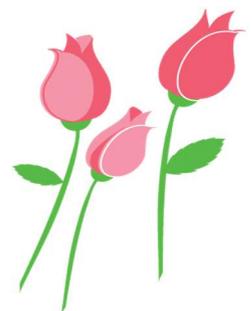
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査については、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討し、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にし、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係や心情を、描写を基にして捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに関わりと気付くことができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができる。
- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
- 文の中における主語と述語の関係を捉えることができる。
- 登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えることができる。

◆課題のある点

- 目的や意図に応じて、事実と感想・意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 児童が自分の考えをより明確にし、相手にわかりやすく伝える文を書くために「ワークシート」などを活用した指導をしていく。
- 紹介文、提案文、物語文などの文章の種類やそれらの文章の特徴について、意識的に区別できるよう指導していく。
- 物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるように指導していく。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・示された場面を解釈し、数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。
- ・問題場面の数量の關係に着目し、計算の仕方や計算の結果について考察できるかどうかをみる。
- ・立体図形について、図形を構成する要素やそれらの位置關係に着目し、図形の構成の仕方や図形の性質について考察できるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、示された場面を解釈し、異種の二つの量の割合として捉えられる数量の關係について考察できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 除法の計算(除数が小数)をすることができる。
- 速さが一定であることをもとに、道のりと時間の關係について考察することができる。
- 円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができる。
- 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができる。

◆課題のある点

- 時速・分速など速さの意味について理解している。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 既習の公式「速さ＝道のり÷時間」「道のり＝速さ×時間」に数値を当てはめて、式が成り立つことを確かめたり、単位を置き換えて計算したりするなどの練習を反復して行っていく。
- 他教科の中でも、具体的な場面において表や折れ線グラフを用いて、伴って変わる二つの数量の変化の様子を表したり、変化の特徴を読み取ったりすることができるように指導していく。
- 算数に対して苦手意識を持っている児童には、「情報を読み取る力」と「共通点と相違点を見つける力」を養っていく。そのために、日常生活の中に算数を取り入れ、楽しみながら学べるような環境をつくっていく。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「国語の勉強は大切だと思いますか」の質問に対して、ほぼ全員が「大切だと思う」と答えている。また、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に対して多くの児童が「はい」と答えている。国語の学習に前向きに取り組もうとする姿勢がうかがえる。
- 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えていますか」の質問に対して、「考える」と答えた児童の割合が高くなっている。また、「算数の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」に対し、「考える」と答えた児童の割合も高くなっており、算数の学習に意欲的に、粘り強く取り組んでいる姿がうかがえる。

◆本校の課題と思われるところ

- 「学習した内容について、分かった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問に対し、「できている」と答えた児童の割合がやや低くなっている。
- 「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」に対し「できている」と答えた児童の割合がやや低くなっている。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に、多くの児童が「当てはまる」と答えている。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」に質問に、多くの児童が「はい」と答えている。また、「友達関係に満足していますか」の質問にも多くの児童が「はい」と答えている。学校生活を通して、友達との関係を深めていっていることがうかがえる。

◆本校の課題と思われるところ

- 「将来の夢や目標を持っていますか」に対し「はい」と答えた児童の割合がやや低くなっている。

今後の具体的な取組について

- 学習については、可能な範囲でペア学習、グループ学習を取り入れ、自他の考えの違いに気づき、考えの幅を広げたり、深めたりさせる。対話を通して自分の考えを見直し、物事を多面的に考えたりすることができるような指導を行っていく。
- 将来の夢や目標については、まだ定まっていない児童が多くみられる。将来の目標の幅を広げるために、様々な職種の人と出会う機会を設け、色々な仕事に興味をもたせていく。

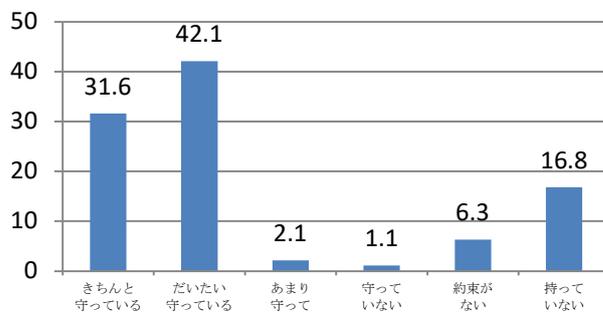
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1

ご家庭でICTの使い方について話し合ってみましょう。

児童にとってICT機器はとても魅力的な道具です。時には時間を忘れ長時間使用してしまったり、本来の目的と違う使い方をしてしまうこともあるかもしれません。ご家庭で使い方やルールについて話し合ってみましょう。

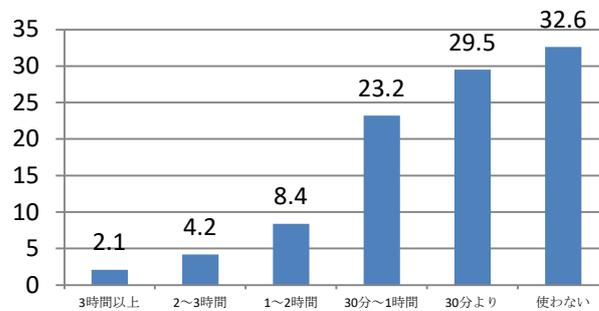


【携帯電話・スマホ・コンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか】

2

ICTを活用した学習について考えてみましょう。

主体的な学びのためにICTは有効的なツールです。今後、学校ではICTの学習への活用をさらに進めていきます。ご家庭でもどんな学習に活用できるか話し合ってみましょう。

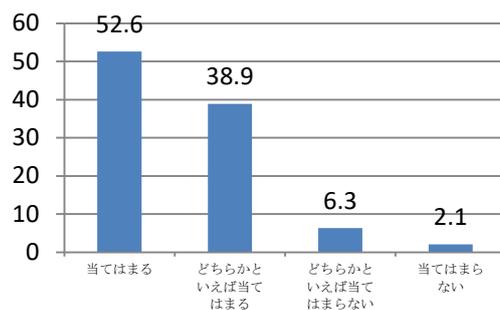


【学校の授業以外に普段1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどを勉強のために使っていますか】

3

子どものよいところを認めて褒めましょう。

褒められることで、子どもたちは自己肯定感が高まり、何事にも前向きに取り組むための自信がつけます。積極的に子どものよいところを認めて褒めていきましょう。

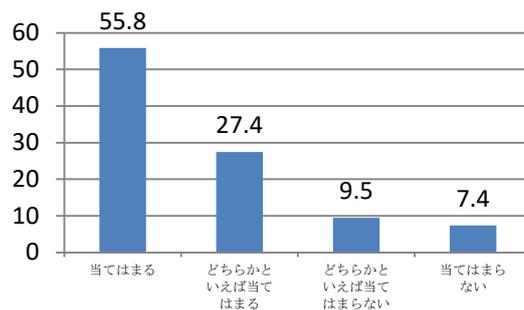


【自分にはよいところがあると思いますか】

4

夢や目標について話し合みましょう

夢や目標を明確に設定することで、今の生活をより充実させることができます。ぜひ、お子さんが将来に向けて希望を持てるようにご家庭で夢や目標について話し合みましょう。



【将来の夢や目標を持っていますか】

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- こどもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
海老名市教育委員会教育支援課 指導係
電話 046-235-4919